2024年1月から7月まで尿検査で尿たんぱくが陽性かつ糸球体性赤血球を認め (腎臓に炎症があることを疑う) 当院腎臓内科に通院中でない患者さんの 診療情報等を研究に利用することについての お知らせ

九州医療センターでは、九州医療センター倫理審査委員会 の審査を受け、病院長承認のもと、下記の臨床研究を実施しております。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当該研究に診療情報等が用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方に ご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の[相談窓口]までお申出ください。 その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、 あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

研究課題名	当院における臨床へのアドバイスサービスの有効性
研究実施機関の	九州医療センター 臨床検査部 岩本 翔希
研究責任者	
研究の背景	当院臨床検査部は臨床検査室の国際規格である ISO15189 の認定を受け
	ており、その中で検査結果から知り得た有益な情報についての助言や検査
	結果の解釈を医師などへ情報提供を行うこと(以下、アドバイスサービス)
	が求められています。尿検査では、特に、尿中に赤血球(血液の一成分)が
	認められた場合には赤血球の形態を観察することが腎炎(腎臓の中の主に
	糸球体という部分に炎症が起こる病気)の早期診断の手助けとなります。
	尿中赤血球の形態は大きく2種類あり、不均一で様々な形態を示す糸球体
	型赤血球と、大きさが均一で単調な形態を示す非糸球体型赤血球に分類で
	きます。糸球体型赤血球が認められた場合は腎臓で血液をろ過して尿を生
	成する糸球体と言われる部分からの出血が、非糸球体型赤血球が認められ
	た場合は糸球体以外からの出血が考えられます。当院の一般検査室では尿
	中に腎炎などで出現する糸球体型赤血球が認められた場合に担当医師へ電
	話連絡、またはコメント等で腎炎の可能性があることや腎臓内科へのコン
	サルテーションを勧めています。しかし、現時点では、電話やコメントの
	取り決めは明確でなく、アドバイスサービスを行った症例がどの程度腎臓
	内科へコンサルテーションされているか不明です。このため、アドバイス
	サービス提供後の経過を調べアドバイスサービスの有効性について評価し
	たいと考えています。
研究目的	腎炎は、十数年かけて悪化するものもあれば数日単位で急速に悪化するも
	のもあるため早期の診断が重要となります。本研究は、当院の一般検査室
	が臨床ヘアドバイスサービスを行った症例の中で電話連絡またはコメント
	のみで対応したものを比較しどの程度効果に差があるのかを検討すること
	によって、今後の臨床へのアプローチ方法をより良いものとすることがで

	きると考えています。
研究実施期間	【調査対象期間】2024年1月1日から2024年9月30日まで
	【研究期間】倫理審査委員会承認後から西暦2024年11月10日まで
研究の方法	【対象となる方】 2024年1月~2024年7月の期間で、尿たんぱくが陽性かつ尿沈渣中に糸球体型赤血球を認めた患者さん(腎臓内科通院中の患者を除く) 【調査方法】
	診療録(カルテ)から情報を収集して、解析します。
	【研究に利用する診療情報】
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	□ 図病歴 図既往歴 図治療歴【腎臓内科への受診歴】
	□予後【 】
	│ 図臨床検査データ【尿素窒素(BUN) クレアチニン(Cre)
	推算糸球体濾過量(eGFR) 尿検査所見】
	□画像データ【
	ロアンケート【 】
	口有害事象【副作用・合併症の発生等】
	図その他【 腎生検の結果 】
	【情報等の管理】
	●情報の管理責任者
伊し棒把の取扱し	九州医療センター 臨床検査部 (職名)臨床検査技師 (氏名)岩本 翔希
個人情報の取扱い	情報等には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所な ど、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。研究成果は学会で
	発表されますが、個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。
 研究組織	この研究は、当院のみの単施設研究です。
	研究代表施設 九州医療センター 臨床検査部(職名:臨床検査技師)
	(研究代表者) 岩本 翔希 (神名・原本は本)
	相談窓口 九州医療センター 臨床検査部 (職名:臨床検査技師) 岩本 翔希
	〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700